なよろの除雪

平成25年5月1日　発行　　第1号
編集　建設水道部都市整備課
電話　01655-3-2511（代表）
FAX　01655-3-3450
e-mail　NY-douroiji@city.nayoro.lg.jp

はじめに

名寄市は北海道北部に位置し、寒暖の差が夏と冬では60度以上にも及びます。冬にはマイナス30度以下の日もあり、11月から3月までの累積降雪量は過去5年平均で718cmと多い地域です。私たちはこうした厳しい自然環境の中 で明治32年頃から生活を始め、現在に至っています。

昨年からの大雪では、累積降雪量は784cmと過去5年平均値の約1．1倍となりました。1日の最大降雪量が56 cmという日もあり、積雪深は151cmと観測史上最大を記録しました。

このような気象状況の中で、除雪に対して、多くのご意見・ご要望が寄せられております。市では寄せられたご意見・ご要望から、市民の皆様が快適に冬を過ごしていただけるよう、今後も除雪に取り組んでいきます。

今月からは、除雪についてちょっとした情報やお知らせを「なよろの除雪」広報で、お知らせします。

第1回目はなよろの除雪の歴史について紹介いたします。

なよろの除雪のはじまり

〇昭和30年代初期

道路の除雪は、旭川から名寄間の国道でも十分に行われず、冬の交通手段は鉄道が頼りでした。市道は、名寄市に除雪車がなく、消防車や、民間の運輸・バス会社、自衛隊名寄駐屯地の車両に協力を求めていました。

〇昭和33年から昭和40年代

昭和32年12月、自衛隊名寄駐屯地に地区作業隊が配置され、翌33年から地区作業隊（平成元年まで）、開発局の協力により、主要路線の除雪が始まりました。

また、名寄市では昭和37年に除雪車両を購入し、市直営の除雪が始まりました。

時代は車社会へ

〇昭和40年代から昭和60年代、現在

交通の中心が車となり、除雪の必要性が高まり、風連地区でも除雪車両を購入し、直営で主要路線の除雪が始まりました。昭和40年代後半から除雪路線の拡大のため、直営路線の一部を民間委託とし、委託路線を年々増やすとともに、昭和50年代には住宅のある路線のほとんどに除雪が行き渡るようになりました。

現在、名寄地区・風連地区とも全面民間委託により行われています。

〇除雪に関する助成制度

・市道・私道除排雪事業→商店街振興組合などの地域組織から要望があり、一定の条件を満たした市道の排雪や、私道の除雪に対し助成。

・排雪ダンプ助成事業　→個人敷地内の雪を10tダンプトラックを利用して排雪する費用に対して助成。

・名寄市風連町市街地除排雪対策補助金

→風連市街地内の、国道、道道沿線の排雪作業に対して助成。

※除雪車出動基準

降雪が10cm以上で除雪車が出動します。

（道内の多くの市町村が、降雪10cm以上で出動しています）